

医療業界新規参入手法

- ✓ **新たな事業の柱**を構築するために、医療業界への参入を検討している！
- ✓ 医療業界に参入したいが、**どのように取引を拡大したらよいか**分からない！
- ✓ 企業現場から見た**薬事法との向き合い方**を知りたい！
- ✓ 自社の**ものづくり技術**を他業界にも展開したい！



ひとつでも当てはまる経営者様は、ぜひご参加ください

今回は、実際に**具業種から医療機器分野に新規参入、成功された実績のある、医療機器開発～事業化のプロフェッショナルの安田 晃氏**にご講演を頂きます。約30年間に渡る医療機器分野における実務経験を振り返り、医療機器業界の市場動向と**リスクの少ない参入のステップ、参入企業から見た薬事法との向き合い方、最終的な医療機器ビジネスを成功に導くための要因**をお伝えします。実際にビジネスの現場を経験されているからこそ語れる内容を、今後参入を検討されている企業様向けにお話し頂きます。



【講師プロフィール】

株式会社インテリジェンス i-common company エグゼクティブコンサルタント 安田 晃氏
(元日本アルコン株式会社 企画開発部長/元株式会社フィリップス・エレクトロニクス・ジャパン 第一薬事部長)

総合化学企業である株式会社カネカ(旧鐘淵化学工業株式会社)にて、従来のプラスチック等素材・医薬中間体ビジネスから脱却すべく、医薬品・医療機器及びライフサイエンス関連製品ならびに新事業の開発を約20年間、実務担当者・責任者として担当。医療機器においては、血液浄化関連製品や脳動脈瘤用塞栓コイル、カテーテル等の人工臓器を中心に、シーズ開発、非臨床試験、臨床試験、薬事、保険適用及び品質・安全保証等と新規事業開発における全てのフェーズに取り組み、事業化を推進・達成。

フィリップス・エレクトロニクス・ジャパンの薬事部長に転職後は、X線診断装置、CT、MRIなどの薬事申請等の責任者として、申請から承認取得までの期間短縮に取り組み、早期上市を実現する。その後、眼科用医療機器・眼科用医薬品の世界的トップメーカーである米国アルコン社の日本法人(現ノバルティス・グループ)に新設された企画開発部の初代部長として、医薬品及び医療機器の開発薬事・臨床開発・保険適用・薬価収載等について、申請実務及び厚生労働省、PMDA、関連医学会・医会等との交渉責任者を務めた。

一方、社外では、日本眼科医療機器協会等理事、日本医療機器産業連合会臨床評価委員会委員長、厚生労働省医政局検討会議構成員などを務め、業界・行政間の橋渡しを行うと共に、自社以外の医療機器メーカーの社外アドバイザーとして開発支援を行ってきた。

【開催概要】

- 日時 2013年11月26日(火) 14:00~16:00 受付開始 13:30
- 場所 川崎フロンティアビル2階KCCIホール会議室6 (川崎市川崎区駅前本町11-2)
- 定員 30名様(先着順、定員に達し次第締め切ります。お申込みをお受けできない場合のみご連絡致します。)
- 参加費 当所会員企業何名でも無料 非会員2,000円(当日受付にてお支払下さい)
- 申込方法 下記の参加申込書にご記入の上、本チラシ全文をFAXして下さい。
- 申込先・問合せ先 川崎商工会議所 企画広報部
TEL 044-211-4112 FAX 044-211-4118 kikaku@kawasaki-cci.or.jp
- 後援 株式会社インテリジェンス i-common company

(個人情報の取扱について)

申込書等にご記入いただいた情報や頂戴したお名刺は、川崎商工会議所からの各種連絡・情報提供に利用するほか、参加者名簿として講師に提供する場合があります。

貴社名		所在地	
参加者		参加者	参加者
TEL		FAX	〇印をお付け下さい 会員・非会員